

経済倶楽部便り

◆東京◆ 今年の8月はいつもより長めの夏休みをいただきました。満を持しての休み明けの講演会は朝日新聞の星浩氏による政治テーマを始め、それでなんとか世間の関心に追いついたようです。続く9月の講演会は、石弘光氏（二橋大学名誉教授）、平井俊邦氏（日本フィルハーモニー交響楽団専務理事）、吉崎達彦氏（双日総合研究所副所長）、原田武夫氏（原田武夫国際戦略情報研究所代表取締役）をお招きします。

新会員を紹介します（順不同）。荒川太・あいおいニッセイ同和損害保険公務部顧問、亀井範雄・帝人代表取締役副社長執行役員、古谷周三・農林中金総合研究所代表取締役、宮崎裕雅・武蔵野銀行執行役員東京支店長、山田晴彦・日本たばこ産業執行役員総務責任者。

（塚田 紀史）

◆中部◆ 名古屋で中部経済倶楽部が入っている東洋経済名古屋支社のビルから歩いて2分ほどの所にあるのが名古屋証券取引所（以下、名証）です。7階建てビルの5階から7階を占めており、5階が記者クラブと会見ルームです。名古屋支社でも決算発表シリーズには毎日のように出かけて行きます。ところで、昨年来の東証・大証の経営統合問題から名証の行く末に関心が集まっていますが、畔柳昇社長は常々「名古屋らしい独自性を発揮して存続させたい」と話しています。たとえば、全国的にもユニークな東海ETFの上場や名古屋企業IRエキスポの開催などがそれです。名古屋市場への単独上場は現在100社を割って94社。重複を入れると319社ですが、名証関係者は「これ以上は減らない」と元気に話しています。

9月の定例講演会は猪瀬直樹東京都副知事、野口悠紀雄早稲田大学ファイナンス研究所顧問、政治コラムニストの後藤謙次氏を予定しています。（日暮良一）